



コロナ禍の2学期を振り返って ～「学び」と「成長」～

校長 高瀬 知郎

新型コロナウイルス第5波の中でスタートした2学期。雄中生はコロナにも負けず充実した2学期を送ることができました。その「学び」と「成長」を振り返ってみます。



夏休み明けすぐに予定していた**体育大会**は、1か月以上も延期となり10月21日に実施されました。立山の初冠雪を仰ぎながらの晩秋の体育大会は、生徒も教師も初体験。ひんやりとした秋の空気の中、子供たちは熱中症の心配もなく、のびのびと競技や応援、よさこいに全力を発揮してくれました。例年以上に応援練習も充実し、プログラムは短縮版でしたが、子供たちの最高の笑顔を見ることができました。

校外行事は、修学旅行の代替旅行を10月29日に、1・2年生の校外学習を11月上旬に実施しました。特に3年生は、当初の予定を大幅に変更しての県内日帰り旅行となりましたが、子供たちはクラスごとに計画を立てて笑顔で出発。当日は好天に恵まれ、秋晴れの1日を存分に楽しみました。1・2年生もクラスやグループ単位で県内各地に出向き、総合的な学習の時間に調べた内容を実地で見学したり、現地インタビューを通して疑問を解決したりして学びを確かめることができました。



2学期のメイン行事は、やはりクラスの団結を発揮し合う**合唱コンクール**です。昨年度はコロナ対応のため学年ごとの実施でしたが、今年度は全校生徒が一堂に会して大いに盛り上がりました。合唱コンクールで最も大切なことは、全校生徒が各クラスの学級づくりの成果としての合唱を互いに聴き合うこと、とりわけ下級生が3年生の合唱を聴いて学ぶことです。3年生の歌声と態度を生

で聴いて、見て、下級生が学ぶものの大きさは計り知れません。クラスを築くとは、仲間を大切にすることはどういうことか、3年生は美しく力強い歌声を通して堂々と示してくれました。



学校生活において昨年度との最も大きな違いは、**部活動**が通常に近い形で実施できたことです。県選抜大会こそ中止となりましたが、他の大会は時期をずらしながらも実施することができました。コロナ禍での大会実施は、大会準備をされる役員の先生方にとっては大変な仕事です。それでも実施してやりたいと願うのは、大会を目指して練習をがんばる過程において、子供たちが大きく成長することを知っているからです。中学校における部活動は、小学校の縦割り活動のような側面があり、下級生に優しく教え慕われ感謝されることで上級生も人間的な成長を遂げていきます。かけがえのない成長の場なのです。



朝、生徒玄関で登校してくる生徒を迎えていて、**変化**に気付くことがあります。それは、このような行事や部活動の大会を経験すること、自分から挨拶してくれる生徒が増えることです。それはなぜか。もしかすると、一つ一つの経験を通して、自分の心の中に少しずつ自信が育つからかもしれません。そんな小さな自信を育てているのが毎日の学校生活なのです。子供たちの成長に必要な不可欠な仲間と過ごす時間と活動。これからも、子供たちの「学び」と「成長」を保障できる雄山中学校でありたいと願っています。



学習参観 ～主体的に学習に取り組む姿～



12月11日（土）の1・2限に学習参観を行いました。
各教室では、教科書だけではなく、デジタル教科書やタブレット端末等のICT機器を活用して、「個別最適な学び」「協働的な学び」を重視した授業が展開されました。

ご多用のところを多くの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。



1年英語「Unit9 Think Globally Act Locally」



1年国語「今に生きる言葉」



1年社会「南北朝の内乱と新たな幕府」



1年数学「平面図形 ～図形の移動～」



1年道徳「銀色のシャープペンシル」



1年美術「空想の植物」



1年理科「凸レンズによる像の作り方」



2年英語「Let's Talk 買い物 ～申し出る、要望を伝える」



2年音楽「バロック音楽を分析しよう」



2年家庭「エコバッグを作ろう」



2年技術「オーラキュートのプログラミング」



2年社会「北海道地方の自然環境」



2年数学「三角形の合同条件」



2年理科「電流の正体と放射線の性質」



3年家庭「幼児のおやつを考えよう」



3年国語「誰かの代わりに ～価値を生み出す～」



3年社会「企業のしくみとはたらき」



3年理科「運動とエネルギー ～エネルギーと仕事～」



3年数学「『三角形の比の定理』の基本形を見つけよう」

堂々2位でゴール！ ～北信越中学校駅伝～

11月27日(土)、第15回北信越中学校駅伝競走大会が長野県松本平広域公園で開催され、県大会で優勝を果たした本校駅伝部が出場しました。北信越地区5県から20チームが参加し、本校駅伝部は力強い走りでタスキをつなぎ、2位でゴールしました。



記録：57分19秒 (総合2位)

第1区 (3.0km)	(3年) 区間：9分18秒 (9位) 通算：9分18秒 (9位)
第2区 (3.0km)	(3年) 区間：8分59秒 (1位) 通算：18分17秒 (4位)
第3区 (3.0km)	(3年) 区間：9分31秒 (3位) 通算：27分48秒 (3位)
第4区 (3.0km)	(2年) 区間：10分4秒 (10位) 通算：37分52秒 (4位)
第5区 (3.0km)	(3年) 区間：9分47秒 (2位) 通算：47分39秒 (2位)
第6区 (3.0km)	(3年) 区間：9分40秒 (2位) 通算：57分19秒 (2位)

燃えよ雄山!! 一走入魂



速報

12月19日(日)、滋賀県・希望が丘文化公園で第29回全国中学校駅伝大会が開催され、本校駅伝部が富山県の代表として出場しました。

序盤は一桁台の順位で勢いをつけ、中盤以降も十位台をキープ。安定した走りを見せ、最終6区を**14位でゴールし、富山県代表としての存在感を示す結果を残しました。**(詳細は、学校だより第10号で紹介します。)

短い詩に込めた家族への思い ～三行詩コンクール～

12月11日(土)、PTA家庭保健委員会による三行詩コンクールの表彰式が行われました。このコンクールは富山県PTA連合会が主催するもので、「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に関する三行詩を募集し、学校単位でも審査を行いました。



生徒の部

【クラス賞】1年7組(30名、153作品の応募)

【最優秀賞】

セーラー服
初めて袖を通して感じたこと
「じいちゃんに見せたかったな」

1年6組

私が小学校6年生の時に、祖父は亡くなりました。祖父は生前、「〇〇ちゃん、制服楽しみだね。似合うと思うよ。じいちゃんも楽しみだよ。」とよく言っていました。制服を着て祖父のお墓参りに行ったときに、その言葉を思い出しました。

この詩には、「幸せというのは身近なところにある」という思いが込められています。

「ただいま」といつでも安心して帰る場所があることが、身近に感じられる幸せの一つであり、感謝すべきことではないかな、と思います。

【最優秀賞】

「ただいま」と
帰れる場所があることが
何より一番幸せだ

3年6組

【優秀賞】

あたりまえ
かぞくのまえでも
ごあいさつ

2年5組

僕はたとえ身近な存在である家族でも「あいさつ」は大切であり、あいさつの習慣が思いやりを生むのだと思います。僕は感謝の気持ちを言葉で丁寧に伝えることで、お互いに心地よく温かい気持ちで過ごせるという思いを込めて、この詩を書きました。

この詩は、コロナ禍で私が悲しいと感じた出来事の一つを書いたものです。

マスクをしていると友達や先生をはじめ、みんなの笑顔を見ることができません。苦しい今の時代を乗り越えて、笑顔を見せ合って過ごせる日が戻ってきてほしいです。

【優秀賞】

今日もマスク
笑顔見えない
悲しいなあ…

3年3組

一般の部 最優秀賞

いいことも悪いことも全て話す
悩みごとは家族で解決
嫌なことは、話すとスッキリ！
嬉しいことは、家族がにっこり！

1年保護者

教職員の部 最優秀賞

コロナ禍で
外出することができないが
気づけば増える
家族の時間

養護教諭 小杉 麻里



山本 PTA 会長から表彰を受ける受賞生徒

冬休み～1月の行事予定

- 12月24日(金) 冬季休業(～1月6日)
- 29日(水) 学校閉庁(～1月3日)
- 1月7日(金) 始業式、書き初め大会
- 9日(日) 立山町成人式

- 17日(月) 学校納金口座振替日
- 中新川郡中学校教育研究会
- *部活動なし

